

第 23 回杉並区清掃審議会 記録

日 時	平成 15 年 11 月 14 日 (金) 午後 3 時 00 分から午後 5 時 05 分まで	
場 所	職員能力開発センター 3 階 会議室	
出席者	委員	藤井会長、前田職務代理、金子委員、大橋委員、小澤委員、内藤委員、柳澤委員、松原委員、小池委員、本橋委員、小泉委員、鈴木委員、河津委員 (13 名)
	事務局	環境清掃部長、清掃管理課長、ごみ減量担当課長、西清掃事務所長、東清掃事務所長、清掃管理課管理係長、清掃計画係長、管理係主査、
傍聴者数	4 名	
配布資料	事前	<p>東京二十三区清掃一部事務組合の概要</p> <p>東京都廃棄物審議会廃プラスチック部会検討経過について</p> <p>廃プラスチック分別収集モデル地区調査事業の実施結果について</p> <p>杉並中継所不要化のための想定計画試算について</p> <p>杉並区一般廃棄物処理基本計画における数値指標について</p> <p>杉並区の収集・組成別ごみ量について</p>
	当日	23区清掃とリサイクル2003
会議次第	<p>< 議題 ></p> <p>1 区長会の決定事項 (東京二十三区清掃一部事務組合) について</p> <p>(1) 東京二十三区清掃一部事務組合の概要</p> <p>(2) 23区清掃とリサイクル2003</p> <p>2 . プラスチックのリサイクルについて</p> <p>(1) 東京都廃棄物審議会廃プラスチック部会検討経過について</p> <p>(2) 廃プラスチック分別収集モデル地区調査事業の実施結果について</p> <p>(3) 杉並中継所不要化のための想定計画試算について</p> <p>3 . 一般廃棄物処理基本計画とごみ減量について</p> <p>(1) 杉並区一般廃棄物処理基本計画における数値指標について</p> <p>(2) 杉並区の収集・組成別ごみ量について</p>	
発言要旨	別紙のとおり	

第 23 回杉並区清掃審議会 発言要旨

発 言 者	発 言 内 容
清掃管理課長	委員の過半数の出席があり、本日の審議会成立を報告。これより清掃審議会を開会するので、会長に進行をお任せしたい。
会 長	開会する。区長より諮問事項がまだ出ていないので、本日は前回審議会の中で話題になった3点について議論していきたい。第一に、区長会の決定事項。第二に、2年間にわたって実施した廃プラスチック分別収集モデル事業の評価。第三に、一般廃棄物処理基本計画とごみ減量。この3点についてフリーディスカッションしていきたいと考えている。事務局から資料説明を願いたい。
清掃管理課長	議題1.(1)東京二十三区清掃一部事務組合の概要<資料1>、(2)23区清掃とリサイクル2003(23区の清掃事業の運営形態)<資料2>により説明。
会 長	区長会の決定事項についてもう少し説明をお願いしたい。
環境清掃部長	前回審議会配布資料(7月16日区長会総会資料)により説明。
会 長	説明のあった区長会の決定事項について意見はあるか。
職務代理	補足する。今、杉並区が行っている清掃事業の独自性をどこまでだせるのか。杉並清掃工場の建替え等は、一部事務組合の構成員の一つである区としての話なのか。または、区長の権限で区長会にあげないといけないのかどうか。そうした認識を深めるために、今回の資料が出されたと思う。
委 員	処分場の管理・運営は東京都が行っているのか。
環境清掃部長	そのとおりである。
会 長	今回の区長会の決定事項だと、中間処理は一部事務組合が共同ですることとなるが、工場により、搬入に際してごみの分別の仕方等、制限があると思うがいかがか。
環境清掃部長	ごみの分別についても統一しなければならぬという問題が出てくると考える。また、リサイクル施設についても、現在各區で行っているが、施設が確保できないとなれば、23区全体で行うか、関係する複数区が連携し共同で行っていくことになる。
職務代理	東京都清掃局から清掃事業を移管し、基礎的自治体が行うのであれば、実際行っている多摩地区の市町村がどのように実施しているのか考える必要がある。区が18年度の移管に向け今後どのようにしていくかを自治体として考えていくことが大切である。また、何のために、ごみを減量しなければならないかという根拠について区民への訴え方が希薄に感じる。18年度移管の際には様々な問題もあると思うが、当面は、一部事務組合の中で、また、清掃協議会の中で十分検討してもらえれば良いと私は考える。
環境清掃部長	東京都清掃局時代からの経緯の中で、23区共同で行っているという認識が強いが、それぞれの区が清掃事業をどのように責任を持っていくかが大切なことである。今回、18年度以降にどのように清掃事業を行っていくのかを区長会で協議し決定したが、あくまでも23区が共同で行うのが前提でないことを理解していただきたい。
会 長	今までの議論を聞いて意見等あるか。
委 員	区長会決定事項が出されたが、各區で様々な動きがあると思うが、どのような動きがあるか。
環境清掃部長	当初の計画では各區に清掃工場を建設し、自区内処理で行うこととなって移管となった経緯がある。前回も説明いたしましたが、現在の厳しい財政事情等を考えると工場用地取得等の計画を見送ることとなった。その後の各區の動きは現時点ではあまり聞いていない。今後動きがあれば情報提供していきたい。
会 長	工場の建設、運営は、23区全体の視野から一部事務組合が行うものなのか。
環境清掃部長	そのとおりである。私たち自治体は収集運搬を行っているので、我々と協議し、このような運営をしてもらいたいと一部事務組合に対して要望し、反映することは可能である。
職務代理	今回、新設工場は建設しないという方向になったわけだが、杉並区が今後ごみを減量していくならば、杉並清掃工場が無くなることも可能だと区民に伝えていくことも大切だと思う。
委 員	前回の審議会でも説明があったが、地域処理については一部事務組合で行うのか、もう少し詳しく聞きたい。
環境清掃部長	これまでは、17年度まで一部事務組合で行い、18年度からは各區に工場を移管し、数區でブロックを作って共同処理をしていくという計画を考えていたが、今回の区長会の方針で、地域処理でなく、一部事務組合が継続し中間処理を行うという方向が出た。
委 員	一部事務組合が存続の方向が出るとこの地域処理は無くなるのか。
環境清掃部長	そのとおりである。

会 清掃管理課長 ごみ減量担当課長 清掃管理課長 会 委 員	長 長 長 長 長 員	他に意見等あるか。無ければ次の議題に入りたい。資料説明願う。 議題2.(1) 廃プラスチック分別収集モデル地区調査事業の実施結果について<資料3> により説明。 (2) 廃プラスチック分別収集モデル地区調査事業の実施結果について<資料4> により説明。 (3) 杉並中継所不要化のための想定計画試算について<資料5> により説明。 意見や質問等あるか。 廃プラスチック分別収集モデル地区調査を2ヵ年で3地区実施したが、馬橋北自治会地区は世帯数が一番多いが、収集量も少なく、資源化率も低いという結果が出たが、原因を聞きたい。
ごみ減量担当課長 東清掃事務所長 委 員 東清掃事務所長	長 長 員 長	13年度と14年度で回収品目を減らしたことが原因と考える。 この地区は他の地区と比べ、学生などの単身世帯が多いということも一つの要因と考える。 このモデルを実施するにあたり住民説明会はしたのか。 町会、大きなマンション等に行き、住民に集まってもらい説明をした。また、他の世帯は個別に訪問し、説明させてもらった。
会 清掃管理課長 ごみ減量担当課長	長 長 長	資料4を見ると、資源として分別回収できた量が極めて少ない。また、資源残渣が60%程度発生し、非常に経費もかかるのがわかったが、区としてどう考えるか。 マテリアルではコスト面を含めて難しいと考える。来年度は方向を転じてケミカルも考えている。いずれにしても量が集まらなると単価は高くなってしまいう実態がある。 今回のモデル事業で、当初プラスチックは透明の物が多いと考えていたが、ミックスしたら実際は色が濃い物が多く、製品化が難しいことがわかった。
委 員 環境清掃部長	員 長	資料に「サーマルリサイクルは、環境負荷として地球温暖化ガスが増加するが、埋立て負荷の軽減や処分場の延命化が大きい。」とあるが、対比するとどうなのかデータがあれば説明願いたい。 特に分析はしていないが、現在不燃ごみの5割がプラスチックで中央防波堤埋立処分場に運搬しているが、もし近くの工場でサーマルで熱回収できれば、運搬にかかるガソリンの消費等トータルに考えなければならぬと思う。また、最終処分場も現在の東京湾埋立処分場がいっぱいになれば、他に埋立地が無く、23区外に埋立てることも不可能である。出来るだけリサイクルし、出来ない物はサーマルしていく必要があると考える。
会 職務代理 環境清掃部長	長 長	今の話しは、まさに今までの審議会の中で論議があったことだと思う。 杉並清掃工場があるということは収集も近い所で出来る。車両台数も人員も規模も少なくすむことになってくればその分資源化施設を作ることも可能になる。そうした発想で処理計画が出来ていくと良いのではないかと。 清掃工場をどのように運営していくかは、あくまでも23区の総意、意見を一部事務組合に反映していくことが大切と考える。
委 員 環境清掃部長	員 長	プラスチック回収モデル事業を細かく分別し実施したが、ごみになる物を作らないという社会、作る段階で抑制するように自治体として働きかけることが大切だと考えるがどうか。 こうしたデータがあるので企業側にデータを提供して、回収のことも見据えた製品づくりに活用してもらおうことも必要と思っている。
委 員 委 員	員 員 員	サーマルリサイクルの安全性を区民に公開していくことが大切だと思う。その際、何の基準をもって安全なのかを解りやすく伝えることが必要と考える。 資料4のモデル事業は、区民に出来る限り協力してもらったとのことだが、区民は環境問題への関心が非常に高くなっている。モデル事業は区民の協力なしではできないので、こうした問題を情報公開して、今後、協力システムを行政がどこまでつくれるかが鍵になると思う。また、行政は高い数値目標を持って協力してもらおうことが大切だと考える。
会 清掃管理課長 会 清掃管理課長 委 員	長 長 長 員	来年度のモデル事業はどのように行うのか。 来年度はケミカルでS工場に搬入したいと考えている。 分別形態はどうなるのか。 容器包装リサイクル法の分別基準に合わせる方法をとりたいと考えている。 中継所を無くすためには、こうした計画が必要と考える。また、可燃ごみも40%減になれば工場への搬入量も少なくなり、工場も建替える必要がなくなり、そうした経費もかからず良いと思う。
会 清掃管理課長	長 長	今の意見は、議題3、一般廃棄物処理基本計画とごみ減量について、に関連しているので次の議題にいきたい。事務局より資料説明願う。 まず資料7から説明したい。議題3.(2) 杉並区の収集・組成別ごみ量について<資料7>

会 委 清 掃 管 理 課 委 清 掃 管 理 課 委 環 境 清 掃 部 委 会 環 境 清 掃 部 会 環 境 清 掃 部 会 会	長 員 長 員 長 員 長 員 長 長 長 長 長	<p>(1) 杉並区一般廃棄物処理基本計画における数値指標について<資料6> により説明。</p> <p>意見や質問等あるか。</p> <p>ケミカルは今年度も行うのか。</p> <p>今年度末から来年度にかけてつながっていくように考えている。</p> <p>その場合指定法人を通すのか。</p> <p>今年度は通さないが、来年度は指定法人の容器包装リサイクルのルートにのせていきたい。</p> <p>事業系ごみの中で商店街から出るダンボールも資源として無料で回収できると良いと思うがどうか。</p> <p>事業系については資源でも有料になっており、それぞれの企業に努力していただいている。資源に関してはその体系を少し考えなければと思っている。事業系の事業所、商店等にリサイクルについてどのように進めていったらよいか、もう少し力を入れていただければと思っている。</p> <p>事業系ごみを出す場合、商店は、分別の指導をしてもらえれば分別能力は非常に高いと思う。</p> <p>資料6にある事業系ごみ10%の減量目標はもう少し高くても良いのではないか。また、この資料に掲げた試算は数値を変えないでこれでやりたいということか。特に不燃物80%減少は、全地域で出来る限りプラスチックを分別してもらいケミカルしていくということか。</p> <p>具体的なプログラムを検討しイメージしていかなければならないと考える。</p> <p>実験をした結果、効果が少なかったのでケミカルでいくという結論に達したのか。</p> <p>その方向である。</p> <p>次回審議会は1月下旬を予定に開催したいと考えている。その時、今年度の計画も含めて来年度の廃棄物処理計画について具体的に何をするのか提示してもらいたい。他に意見等あるか。特に無ければ本日の会議を閉会する。</p>
--	---	--

(午後5時05分)